事例No.	2768
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	埼玉県横瀬町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用 ・歳入確保

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

よこらぼ（横瀬町官民連携プラットフォーム）

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集

優秀賞



よこらぼ（横瀬町官民連携プラットフォーム）

埼玉県横瀬町（よこぜまち）

DATA

事　例　名：よこらぼ（横瀬町官民連携プラットフォーム）／横瀬町
所　在　地：埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬4545
連　絡　先：TEL 0494-25-0112　FAX 0494-23-9349
E-mail machikei@town.yokoze.saitama.jp
ホームページ：https://yokolab.jp/

取組の概要

小さな町「消滅可能性都市」の未来を変えるため、外部からヒト・モノ・カネ・情報を継続的に流入させ、地域の活性化を促す仕組み「よこらぼ」を構築（平成27年度地方創生加速化交付金活用）。現在までに、民間企業、研究機関、個人等から206件の提案があり、うち125件を採択。多種多様な官民連携プロジェクトが実践され、地域の活性化に大きく寄与し続けている。

評価された点

●日本一チャレンジする町、日本一チャレンジを応援する町というブランディングとビジョンを評価。地方=実証実験地とすることにより、地方が先進地化、地方性を価値化している点を評価。
●官民連携で、地域課題解決に向けた取り組みを展開するプラットフォームを構築し、展開を図っている。プラットフォームを通じた提案をきちんと実証実験などにつなげており、スピード感をもって民間投資の喚起につなげている点を評価。
●小さな町だからこそできる地域住民を中心とした地域づくり。行政がサポートし、民間が主体となることで継続的な取り組みとなる。
●町の規模にしては、発展性が幅広く、創造力豊富な取り組みである。福祉、教育、空き家の活用、ブランディングなど、町のさまざまな面の活性化につながる。今後、新たな事業が増えてくることが楽しみである。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ　2015年12月～
都内スタートアップ企業との意見交換
ソーシャルビジネスサービスなどの実証を受け入れてくれる自治体がなく、日本はサービス展開のスピードが遅い。

2016年9月～
・地方創生加速化交付金を活用して、町の弱みを強みに変えながら、民間事業者がチャレンジしやすい仕組みを開発。

横瀬町官民連携プラットフォーム（通称：よこらぼ）スタート
・9/30 町民・民間事業者・記者等を集めてキックオフイベント。



2017年～
・取り組みが経済紙面やトレンド雑誌等へ掲載。
・よこらぼを通じた民間事業者の活動が加速。

世界初の特許技術 SwipeVideo住民参加型実証
・被写体中心の360°自由視点映像撮影サービスの実証試験。
・町内のサッカー少年団やスポーツ吹き矢協会などの協力を得て実施。





2018年～
・本実証を皮切りにコロナ禍もあいまり、多くの自治体が導入。

小児科医がいない町で子育て不安の解消
・スマホで遠隔医療相談サービスの展開。気軽に小児科医へ相談できる環境をつくる。
・医療費などへの影響検証。

2019年～
・ここから「商店街がない町」の中心地づくりが加速。

商店街のない町に人が集う「エリア898」がオープン
・町民らが自ら空き店舗をリノベーションし、町民を始め誰もが集う施設としてオープン。結果として、よこらぼの打合せ施設としても利用者が増加。町民と民間事業者等が連携しやすい場所に。
・関係人口創出モデル事業として採択。





2021年～

さまざまな形の官民連携推進
・エリア898を拠点とした中心地づくり。よこらぼ以外での官民連携の展開。金融機関支店跡に宿泊付きテレワーク施設オープン（地方創生テレワーク交付金活用）。
・新たな地域経済循環創出のため地域商社設立。
・地域活性化起業人、企業版ふるさと納税制度の活用。



今後の展望
・地域経済循環の促進。
・中心地（エリア898周辺）の形成と整備。
・空き家の利活用推進。
・「チャレンジ」を町のカラーに（意識改革）。



受賞者のコメント

素敵な賞をいただき、大変光栄です。「よこらぼ」は、自治体による官民連携プラットフォームの先駆けで、6年間実績を積み上げてきました。このプラットフォームを使ってさまざまなプロジェクトが実践され、チャレンジをする町、チャレンジを応援する町としてのブランド醸成につながってきていると感じられます。まだまだ現在進行形ですが、今後一層地方創生に取り組んでまいります。ありがとうございました。

横瀬町長 富田 能成